

市町村合併検証報告書 【概要版】



八代妙見祭



さかもと八竜天文台



せんちょうい草の里まつり



鏡が池鮎取り神事



東陽石匠館



せんだん轟の滝

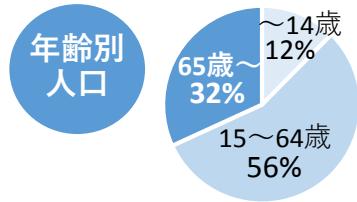
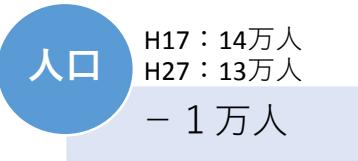
市町村合併検証報告書【概要版】 平成29年5月
■発行 八代市
■編集 八代市 企画振興部 企画政策課
〒869-4292 熊本県八代市鏡町内田453-1
TEL 0965-33-4104 FAX 0965-62-8425

平成29年5月
八代市

合併後の変化

合併後どう変わったの？

市の概要

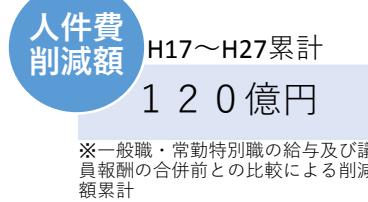
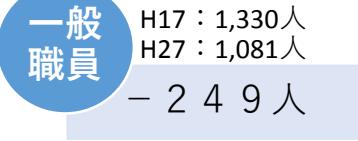


校区別人口増減

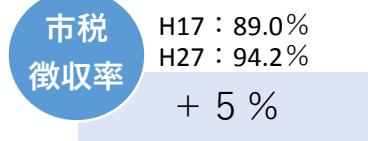
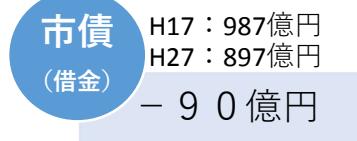
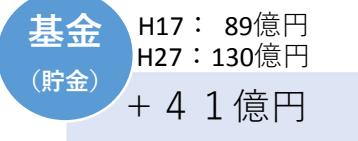
松高	+2.6%
八千穂	+0.6%
千丁	+0.2%
日奈久	-21.5%
泉	-23.7%
坂本	-26.9%

※H17→H27増減率

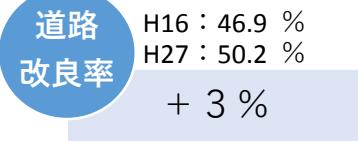
行政体制



財政



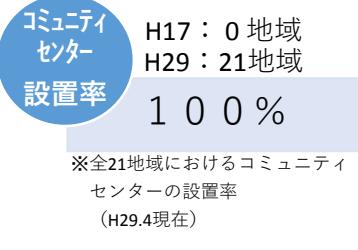
公共施設等



公共料金等



住民自治



市民意識調査

良くなった

- 窓口サービス
- 道路や上水道等の整備
- 高齢者福祉サービス
- 行政からの情報提供
- 防災の体制・対策
- 公共交通の利便性
- 専門職員によるサービス
- 公共施設の利便性
- 日常的な買い物環境
- 子育て支援

悪くなった

- 地域の活気・にぎわい
- 公共料金の負担
- 公共交通の利便性
- コミュニティのつながり
- 日常的な買い物環境
- 補助金・助成金
- 産業振興・雇用対策
- 安心感や期待感
- 地域のイメージや知名度
- 地域間の連携・交流

効果

○=効果があった
△=効果が不十分、問題がある

合併で期待されていた効果はどうだったの？

① 高齢化社会で多様化する行政ニーズへの対応

○行政サービス

- 高齢者・子育て支援などの福祉の充実
- 窓口対応や利便性など行政サービス向上
- 市報、ラジオ、インターネットなどによる情報提供の充実

△公共料金等の負担

△介護保険料や下水道料金など公共料金等が上昇傾向し、市民の負担が増加

② 行財政運営の効率化と基盤強化

○行政体制

- 合併時に特別職や議員定数が大幅削減
- 一般職員の削減

○財政

- 基金残高は増加し、市債残高は減少
- 財政の健全度を測る財政指標が改善

③ 広域的な観点からのまちづくり

○合併支援措置の活用

- 国の合併支援措置を活用し、広域的観点からのまちづくりに必要となる計画策定、幹線道路整備、観光物産施設整備、防災行政無線整備などを実施

△社会資本整備

- 学校耐震化、道路や上下水道整備の進捗
- △公共施設の老朽化に伴う施設更新費用の増大により、将来の財政を圧迫する可能性大

△地域の活気・にぎわい

△市民意識調査において、3人に1人が合併後「地域の活気・にぎわい」が低下したと回答(中心部・周辺部にかかわらず回答多数)

課題

検証で見えてきた課題と原因は？

課題1 公共料金等の負担増

- 【課題】合併後、公共料金等が上昇傾向にあり、市民の負担感が増している。
- 【原因】人口減少や高齢化による負担と受益のバランス変化

課題2 公共施設等の更新費用増加

- 【課題】合併前の旧市町村がそれぞれに建設した公共施設の老朽化が進み、将来の施設更新費用が財政を圧迫する可能性が高い。
- 【原因】公共施設の建設時期の集中
高齢化による社会保障費の増加に伴う建設事業費の減少

課題3 地域の活気・にぎわいの低下

- 【課題】合併後、全市的に地域の活気・にぎわいが低下している。
- 【原因】人口減少、高齢化及びそれに伴う地域経済規模の縮小
就職や進学による若年層の人口流出
地域コミュニティの希薄化

今回の検証を通して整理した課題については、主に人口減少や高齢化、若者流出などに起因するものでした。今後、「負担と受益のあり方の検討」「公共施設の縮減や複合化」などの**人口減少に適応する施策**と「産業振興・雇用対策」などの**人口増加に資する施策**を並行して取り組んでいく必要があります。
また、合併以来進めてきた**住民自治によるまちづくり**を更に推進し、地域コミュニティの活性化による地域の活気・にぎわいの創出を図る必要があります。